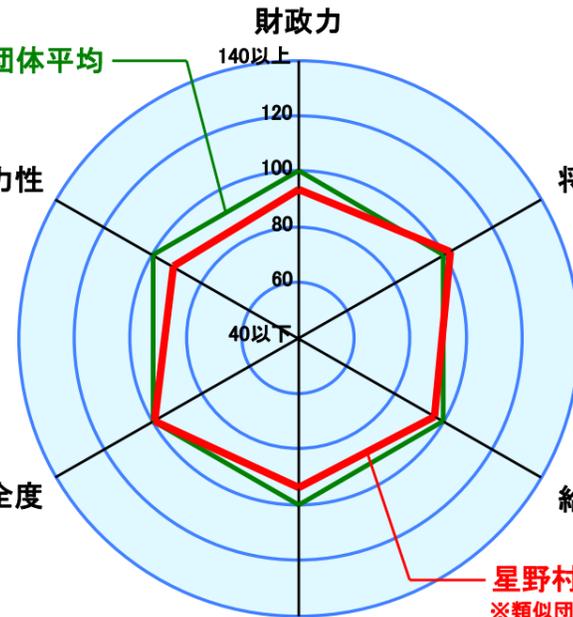


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福岡県 星野村

人口	3,551 人(H17.3.31現在)
面積	81.28 km ²
歳入総額	2,920,153 千円
歳出総額	2,825,976 千円
実質収支	91,982 千円



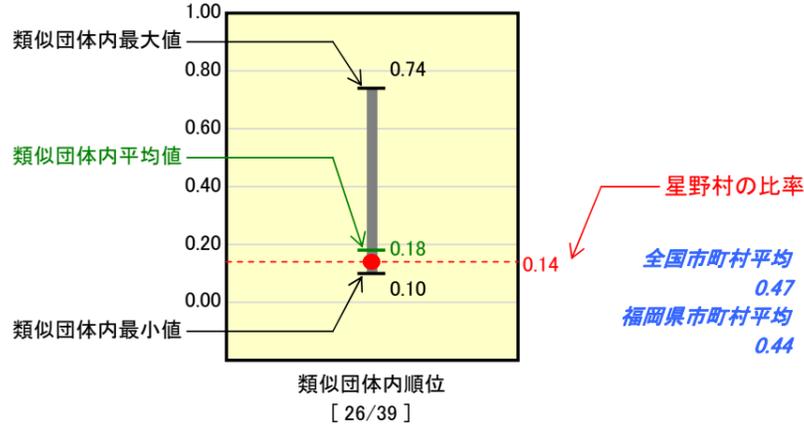
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

- 財政力指数
人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(平成16年度末35.1%)に加え、低迷が続く農林業以外に主たる基幹産業が無いこと等により、財政基盤が弱く、類似団体平均を下回っている。平成17年4月に策定した「星野村行財政改革基本指針」に基づき、組織機構の見直し(グループ制の導入、5課から3グループ)、事務事業の見直し(行政評価制度の導入)を進め、歳出の見直しを図りながら行政の効率化に努めることにより、財政の健全化を図る。
- 経常収支比率
公債費は平成15年度をピークに減少の傾向にあるが、高齢者を多く抱えるため、扶助費の抑制が難しい状況にある。村が出資する法人については村負担の軽減、自立促進を図り、経常経費の削減に努める。
- 起債制限比率
毎年度の起債額の3億円程度を基本とし、効率的な投資事業の展開により住民要望に応えながら、起債に頼ることない財政運営に努める。
- 人口1人当たり地方債現在高
毎年度の起債額の基本を押さえ、大型事業が見込まれる場合は、他事業における地方債の発行の抑制に努める。
- ラスパイレス指数
旧来からの給与体系によりグループ平均を上回る94.5となっている。近隣町村との均衡に留意しながら給与の適正化に努める。
- 人口1000人あたり職員数
事務事業の整理合理化と併せて、平成26年度までに職員定数20%削減を目標とする。

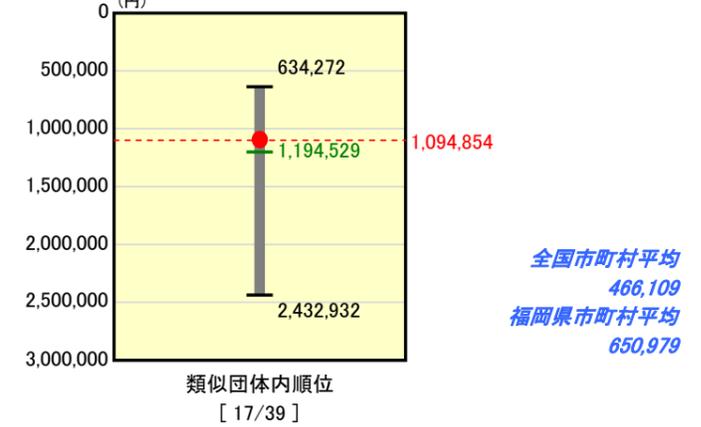
財政力

財政力指数 **[0.14]**



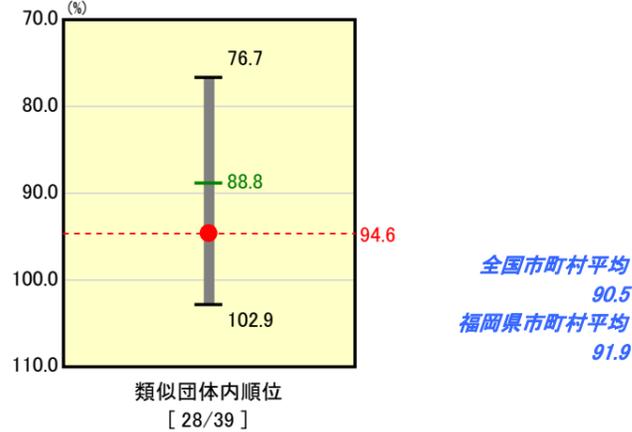
将来負担の健全度

人口1人当たり地方債現在高 **[1,094,854円]**



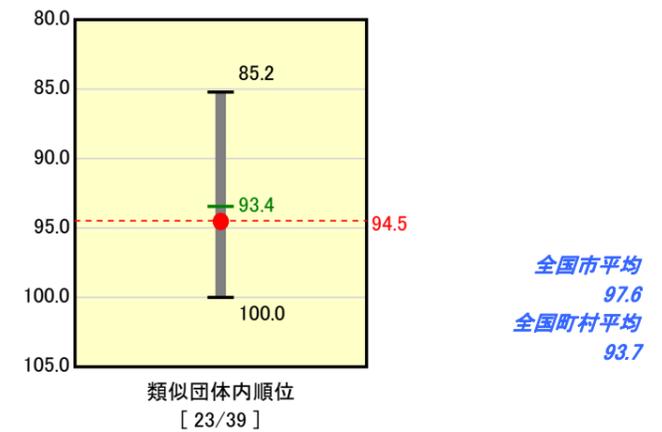
財政構造の弾力性

経常収支比率 **[94.6%]**



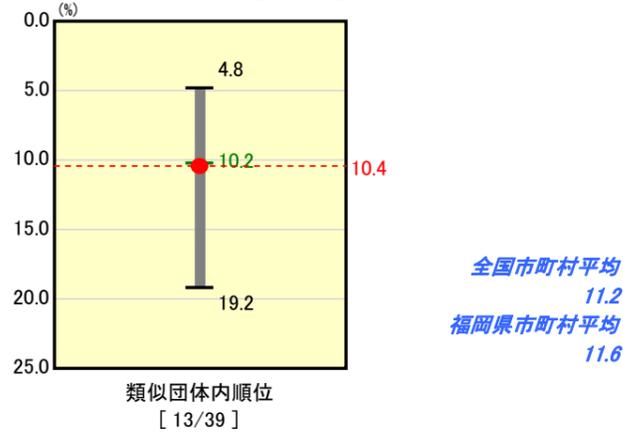
給与水準の適正度(国との比較)

ラスパイレス指数 **[94.5]**



公債費負担の健全度

起債制限比率 **[10.4%]**



定員管理の適正度

人口1,000人当たり職員数 **[20.28人]**

